

地域福祉アンテナショップ交流会報告書

キーワード：「場所の周知」「参加の推進」「運営の持続性」

1. 場所の周知

〈ターゲットに対する課題・解決策〉

- 妊産婦など、福祉を意識していない層が手にする媒体（パンフレット等）への掲載ができていない
- 自治会掲示板、広報たちかわ、都営住宅掲示板など、生活動線上の媒体の活用ができないか

〈心理的なハードルに対する解決策〉

- 不審に思われないような声掛けの工夫や、口コミの促進をしていきたい

〈周知方法〉

- SNS（Instagram, LINE, オープンチャット）の活用による拡散をしていきたい
- のぼり旗や目印の設置といった、物理的な「視認性」の向上が求められているのではないか

2. 参加の推進

〈参加者、協働者へのアプローチ〉

- 参加者の層は高齢者が多い
- 学生の参加や、福祉業界以外の人との協働が必要
- リピーターを増やすことと新規の利用者を増やすことの両輪を検討することが必要

〈イベントの実施〉

- 夜のカフェ、ワークショップ、農園ボランティアなど、多様な活動メニュー
- 「誰でもどうぞ」は逆に敬遠されるため、特定のテーマを設けて入り口を明確にすることができると良い

3. 運営の持続性

〈担い手の確保・負担の軽減〉

- ボランティア不足が課題
- 「ボランティアしてみませんか？」というアンケートを通じた、利用者から担い手への緩やかな移行はできないか
- SNS を運営するスタッフやボランティアが偏っていることが課題
- 企業に場所を提供してもらい、運営は住民が担うなど、場所を共有する協働型の検討をしても良いかもしれない